



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 日本ハム株式会社

コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹添 昇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員グループ経営本部長 (氏名) 畑 佳秀

TEL 06-6282-3042

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け決算説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	242,943	△3.3	5,162	△22.4	4,141	△32.4	1,924	△46.2
24年3月期第1四半期	251,307	5.3	6,652	△3.4	6,125	21.0	3,574	9.1

(注)当社株主に帰属する四半期包括利益 25年3月期第1四半期 2,540百万円 (△17.6%) 24年3月期第1四半期 3,081百万円 (64.8%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.07	8.18
24年3月期第1四半期	16.80	15.15

(注)営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	594,177	290,040	287,733	48.4	1,358.82
24年3月期	589,125	292,268	290,020	49.2	1,363.34

(注)「株主資本」については、「当社株主資本」の金額を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	18.00	18.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)24年3月期の期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	515,000	1.7	12,000	△0.0	7,200	△24.8	3,600	△25.0	16.97
通期	1,040,000	2.2	30,000	13.2	23,000	△14.1	12,000	3.0	56.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
詳細は、【添付資料】4ページ「2.その他の情報(3)会計方針の変更、(4)連結財務諸表の作成基準」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	228,445,350 株	24年3月期	228,445,350 株
25年3月期1Q	16,693,575 株	24年3月期	15,718,715 株
25年3月期1Q	212,078,201 株	24年3月期1Q	212,713,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性があります。本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想等の将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更	4
(4) 連結財務諸表の作成基準	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第 1 四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結包括利益計算書	6
【第 1 四半期連結累計期間】	6
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 継続企業の前提に関する注記	8
(6) セグメント情報	8
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
補足資料	補 1～補 6

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については本日 T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

・平成 24 年 8 月 2 日 (木) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

業績全般の状況

当第 1 四半期のわが国経済は、米国経済の低迷、欧州経済危機、為替の円高影響を受けながらも復興需要等を背景に、穏やかな回復傾向となりました。当業界におきましては、前期に比べて国産の牛肉相場が回復傾向にあるものの、鶏肉相場が前期を大きく下回る傾向が続いていることや、デフレ傾向が継続する中での販売競争激化、穀物価格やエネルギーコストの上昇など、大変厳しい状況となりました。

このような中、日本ハムグループは、今期より新たに「新中期経営計画パートⅣ」をスタートさせました。テーマとして掲げた「国内事業の収益拡大と海外事業の基盤強化」に向けて、3 つの経営方針「品質 No. 1 経営のブラッシュアップ」、「経営資源の重点配分」、「グループブランド価値の向上」に基づく事業活動を推進し、具体的施策として、国内川上事業の強化、新商品の拡販、人材の育成、グループ連携強化のための本社移転など様々な施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比 3.3%減の 242,943 百万円となりました。営業利益は対前年同期比 22.4%減の 5,162 百万円、税金等調整前四半期純利益は対前年同期比 32.4%減の 4,141 百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比 46.2%減の 1,924 百万円となりました。

オペレーティング・セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門は、フランク・ソーセージ市場に新商品を投入したほか、「シャウエッセン」「森の薫り」「彩りキッチンロスハム」などの既存商品の売上げ拡大に取り組みました。特に「シャウエッセン」「彩りキッチンロスハム」については、TVCMを投入し、知名度向上と売上げ拡大を図りました。また中元商戦においては、ギフトの旗艦ブランドである「美ノ国」を中心にTVCMの投入と店頭での販売促進を積極的に行いました。加工食品部門では、ハンバーグ・ミートボールの新商品に注力したほか、「羽根付きギョーザ」やカレーの新アイテム投入など売上げ拡大にも注力いたしましたが、業務用の競争激化もあって全体の売上げは伸び悩みました。

利益につきましては、生産性改善などのコスト削減やSCM改革などの改善効果に加え、原料・資材価格も安定したことから、前年実績を上回りました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比 4.3%減の 78,540 百万円、営業利益は対前年同期比 63.0%増の 1,804 百万円となりました。

(食肉事業本部)

国内の豚肉・鶏肉生産量は、前期を上回る状況が続いた結果、国産の豚肉・鶏肉相場は、前期を下回りました。また前期相場が低迷した国産牛肉については、やや回復の兆しが出てきているものの、全体としては、相場の低迷が続きました。一方、生産コストに影響がある原油や穀物価格は高止まりする傾向となりました。このような厳しい状況下で、日本ハムグループは、全ての畜種を取り扱うグローバルな調達力と日本国内を網羅する販売会社の営業力を強みとして国内外で積極的に拡販に取り組んだ結果、販売数量は前期に比べて伸ばさせることができました。しかしながら食肉の販売単価が前期に比べて下落したために、売上げは前期を下回りました。

利益につきましては、食肉相場の低迷に伴って国内のファーム事業が全体的に苦戦いたしました。また輸入食肉販売におきましてもブロイラーの相場が低迷したことから、前期より収益が悪化することとなりました。海外事業においては、米州・豪州のファーム事業について食肉相場の低迷と飼料価格の上昇などがあり、大変厳しい状況が継続いたしました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 5.6%減の 162,554 百万円、営業利益は対前年同期比 42.2%減の 2,912 百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、食品スーパーを中心に取組みを強化し量販店チャネルの売上げが伸ばしたほか、えびやサーモンなど重点商品に集中して営業活動を強化した効果もあり、売上げは堅調に推移しました。

乳製品部門につきましては、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、コンビニエンスチャネルにおいてドリンクヨーグルトの売上げを伸ばしたことや新商品が堅調に推移した結果、増収となりました。チーズにつきましては、主

要チャネルである食品メーカーへの販売が順調に伸長したことやコンシューマ商品の拡販にも努めた結果、売上げは前期を上回りました。

利益につきましては、水産部門において仕入価格が高騰したことや一部魚種の相場の下落により粗利益率が低下した結果、前期を下回ることとなりました。また、乳製品部門においては、原料価格が安定する中、全体の売上げが順調に推移したことにより、前期実績を上回りました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比 3.0%増の 32,514 百万円、営業利益は対前年同期比 46.1%減の 246 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

《財政状態》

当第 1 四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が 29,463 百万円減少しましたが、有価証券が 17,473 百万円、棚卸資産が 13,549 百万円それぞれ増加したことなどにより前期末比 0.9%増の 594,177 百万円となりました。負債については、前期末に比べ支払手形及び買掛金が 5,680 百万円、未払費用が 4,216 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 2.5%増の 304,137 百万円となりました。なお、有利子負債は、短期借入金の減少などにより前期末から 2,757 百万円減少し、136,430 百万円となりました。

当社株主資本は前期末比 0.8%減の 287,733 百万円となり、総資産も増加したことから当社株主資本比率は前期末比 0.8 ポイント減の 48.4%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、支払手形及び買掛金の増加 5,812 百万円や未払費用及びその他の流動負債の増加 6,390 百万円などがありましたが、棚卸資産の増加 14,139 百万円などにより、1,292 百万円の純キャッシュ減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期投資の増加 18,023 百万円などにより 22,796 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務による調達 1,612 百万円などがありましたが、借入債務の返済 3,349 百万円や現金配当 3,835 百万円などにより、5,226 百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 29,463 百万円減少し、34,188 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間および通期連結業績の予想につきましては、平成 24 年 5 月 14 日の平成 24 年 3 月期決算短信にて公表した見通しから変更はありません。

尚、平成 24 年 4 月 13 日に公表しました「ハム・ソーセージ生産工場の会社分割による連結子会社への承継に関するお知らせ」に関して、現在改めて本会社分割による業績への影響等を精査しております。この精査の結果、上記連結及び個別業績予想等に影響が生じる場合には、速やかにお知らせいたします。

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとはかぎりません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

当社は、当第 1 四半期連結累計期間より、会計基準書 220「包括利益」を修正する会計基準書アップデート 2011-05 及び 2011-12 を適用しています。

これらのアップデートは、資本勘定計算書においてその他の包括利益の内訳を表示する選択を排除し、包括利益の合計、当期純利益の内訳及びその他の包括利益の内訳については、1 計算書方式または 2 計算書方式の何れかによる表示を選択することを要求しています。

これらのアップデートの適用により、当社は当第 1 四半期連結累計期間より、2 計算書方式による四半期連結包括利益計算書においてその他の包括利益の内訳を表示し、表示される全期間について遡及適用しています。

(4) 連結財務諸表の作成基準

当社の四半期連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しています。

当社は当第 1 四半期連結累計期間より、四半期連結損益計算書の表示様式を変更しています。

以前は、「収益」及び「原価及び費用」の合計を表示するとともに、それぞれに含まれる重要性のない項目を「その他」として表示していましたが、「収益」及び「原価及び費用」の合計を表示せずに、それぞれに含まれていた「その他」については、性質に応じて「その他の営業費用及び(△収益)－純額」及び「その他の収益及び(△費用)－純額」に分類して表示しています。

当社は、「売上原価」及び「販売費及び一般管理費」以外の営業費用が明示されるこの変更が、当四半期連結財務諸表の読者にとって有用な変更であると考えています。

なお、当第 1 四半期連結累計期間の表示に合わせて前第 1 四半期連結累計期間の表示を変更しています。

当社及び国内子会社は、平成 24 年 4 月 1 日より、定率法を採用していた有形固定資産(主としてハム・ソーセージ及び加工食品の製造設備)の減価償却方法を定額法に変更しました。

この変更は、選択と集中による生産の効率化を図るため、ハム・ソーセージの製造拠点の再編を検討し、ハム・ソーセージ及び加工食品等の製造品目・製造ラインの集約・統合を進めていることにより、製造設備の使用水準が平準化され、定額法がより適合する環境となったことによるものです。

また、見積り耐用年数についても使用実態に合わせた見直しを行いました。

なお、この変更は会計基準書 250「会計上の変更及び誤謬の修正」に準拠し、会計上の見積りの変更として将来にわたって適用されます。

これにより、当第 1 四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益、当社株主に帰属する四半期純利益、基本的 1 株当たり当社株主に帰属する四半期純利益及び希薄化後 1 株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ 979 百万円、607 百万円、2 円 86 銭及び 2 円 58 銭増加しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	63,651	34,188
定期預金	7,595	8,782
有価証券	5,199	22,672
受取手形及び売掛金	119,959	122,589
貸倒引当金	△ 518	△ 457
棚卸資産	112,516	126,065
繰延税金	6,087	7,506
その他の流動資産	9,979	9,813
流動資産合計	324,468	331,158
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	213,663	212,828
無形固定資産(償却累計額控除後)	8,737	8,496
投資及びその他の資産		
関連会社に対する投資及び貸付金	2,510	2,227
その他の投資有価証券	17,790	16,992
その他の資産	8,589	8,724
投資及びその他の資産合計	28,889	27,943
長期繰延税金	13,368	13,752
資産合計	589,125	594,177
(負債及び資本の部)		
流動負債		
短期借入金	40,460	39,006
一年以内に期限の到来する長期債務	26,636	26,322
支払手形及び買掛金	96,822	102,502
未払法人税等	4,371	4,867
繰延税金	2,038	400
未払費用	19,006	23,222
その他の流動負債	14,338	15,739
流動負債合計	203,671	212,058
退職金及び年金債務	17,170	16,811
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	72,091	71,102
長期繰延税金	2,616	2,606
その他の固定負債	1,309	1,560
負債合計	296,857	304,137
当社株主資本		
資本金	24,166	24,166
資本剰余金	50,786	50,759
利益剰余金		
利益準備金	7,350	7,512
その他の利益剰余金	239,921	237,854
その他の包括損益累計額	△ 15,526	△ 14,910
自己株式	△ 16,677	△ 17,648
当社株主資本合計	290,020	287,733
非支配持分	2,248	2,307
資本合計	292,268	290,040
負債及び資本合計	589,125	594,177

(注) その他の包括損益累計額の内訳
 売却可能有価証券未実現評価損益
 年金債務調整勘定
 外貨換算調整勘定

前連結会計年度
 1,950
 △ 8,229
 △ 9,247

当第1四半期連結会計期間
 1,491
 △ 8,100
 △ 8,301

(2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 連結累計期間 自平成23年4月 1日 至平成23年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自平成24年4月 1日 至平成24年6月30日
売 上 高	251,307	242,943
売 上 原 価	203,815	197,268
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	40,840	40,513
その他の営業費用及び(△収益)-純額	329	△ 139
支 払 利 息	492	407
その他の収益及び(△費用)-純額	294	△ 753
税金等調整前四半期純利益	6,125	4,141
法 人 税 等	2,570	2,174
持分法による投資損益前 四半期純利益	3,555	1,967
持分法による投資損益 (法人税等控除後)	54	△ 10
四半期純利益	3,609	1,957
非支配持分に帰属する 四半期純損益	△ 35	△ 33
当社株主に帰属する 四半期純利益	3,574	1,924

(3) 四半期連結包括利益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 連結累計期間 自平成23年4月 1日 至平成23年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自平成24年4月 1日 至平成24年6月30日
四半期純利益	3,609	1,957
その他の包括損益(法人税等控除後)		
売却可能有価証券未実現評価損益	△ 84	△ 460
デリバティブ未実現評価損益	98	—
年金債務調整勘定	135	129
外貨換算調整勘定	△ 629	979
その他の包括損益合計	△ 480	648
四半期包括損益	3,129	2,605
非支配持分に帰属する 四半期包括損益	△ 48	△ 65
当社株主に帰属する 四半期包括損益	3,081	2,540

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	前第1四半期 連結累計期間 自平成23年4月 1日 至平成23年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自平成24年4月 1日 至平成24年6月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益	3,609	1,957	11,801
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	5,910	4,824	24,234
固 定 資 産 減 損 損 失	391	—	2,213
繰 延 税 金	△ 1,757	△ 3,282	3,679
為 替 換 算 差 額	△ 944	△ 1,010	118
受 取 手 形 及 び 売 掛 金 の 増	△ 430	△ 2,660	△ 15,532
棚 卸 資 産 の 増	△ 16,112	△ 14,139	△ 4,567
その他の流動資産の(△増)減	△ 1,268	△ 84	73
支 払 手 形 及 び 買 掛 金 の 増	7,087	5,812	6,496
未 払 法 人 税 等 の 増 (△ 減)	△ 5,362	479	△ 4,492
未 払 費 用 及 び そ の 他 の 流 動 負 債 の 増	8,473	6,390	1,513
そ の 他 — 純 額	288	421	896
営業活動による純キャッシュ増(△減)	△ 115	△ 1,292	26,432
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固 定 資 産 の 取 得	△ 3,713	△ 4,667	△ 17,311
固 定 資 産 の 売 却	550	1,025	2,218
短 期 投 資 の (△ 増) 減	305	△ 18,023	23,783
有 価 証 券 及 び そ の 他 の 投 資 有 価 証 券 の 取 得	△ 223	△ 223	△ 444
有 価 証 券 及 び そ の 他 の 投 資 有 価 証 券 の 売 却 及 び 償 還	200	225	302
事 業 の 取 得 に 伴 う 現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 純 減	△ 237	△ 817	△ 198
そ の 他 — 純 額	△ 155	△ 316	1,400
投資活動による純キャッシュ増(△減)	△ 3,273	△ 22,796	9,750
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 3,466	△ 3,835	△ 3,474
短 期 借 入 金 の 増 (△ 減)	15,646	1,345	△ 2,977
借 入 債 務 に よ る 調 達	1,731	1,612	12,462
借 入 債 務 の 返 済	△ 4,562	△ 3,349	△ 29,753
自 己 株 式 の 取 得	△ 1	△ 999	△ 4
そ の 他 — 純 額	0	0	1
財務活動による純キャッシュ増(△減)	9,348	△ 5,226	△ 23,745
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 164	△ 149	△ 195
純キャッシュ増(△減)	5,796	△ 29,463	12,242
期首現金及び現金同等物残高	51,409	63,651	51,409
期末現金及び現金同等物残高	57,205	34,188	63,651
補足情報：			
四半期(年間)キャッシュ支払額			
支 払 利 息	645	465	1,826
法 人 税 等	9,626	5,073	15,796
キャピタルリース債務発生額	463	508	2,676

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

オペレーティング・セグメント情報

連結会社のオペレーティング・セグメントは、以下の3つの事業グループから構成されております。

加工事業本部 — 主にハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売

食肉事業本部 — 主に食肉の生産・販売

関連企業本部 — 主に水産物、乳製品の製造・販売

前第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	75,924	147,785	30,852	254,561	△ 3,254	251,307
(2) セグメント間の内部売上高	6,169	24,451	718	31,338	△ 31,338	-
計	82,093	172,236	31,570	285,899	△ 34,592	251,307
営 業 費 用	80,986	167,198	31,114	279,298	△ 34,643	244,655
営 業 利 益	1,107	5,038	456	6,601	51	6,652

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	73,982	140,109	31,816	245,907	△ 2,964	242,943
(2) セグメント間の内部売上高	4,558	22,445	698	27,701	△ 27,701	-
計	78,540	162,554	32,514	273,608	△ 30,665	242,943
営 業 費 用	76,736	159,642	32,268	268,646	△ 30,865	237,781
営 業 利 益	1,804	2,912	246	4,962	200	5,162

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
 2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
 3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成25年3月期第1四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

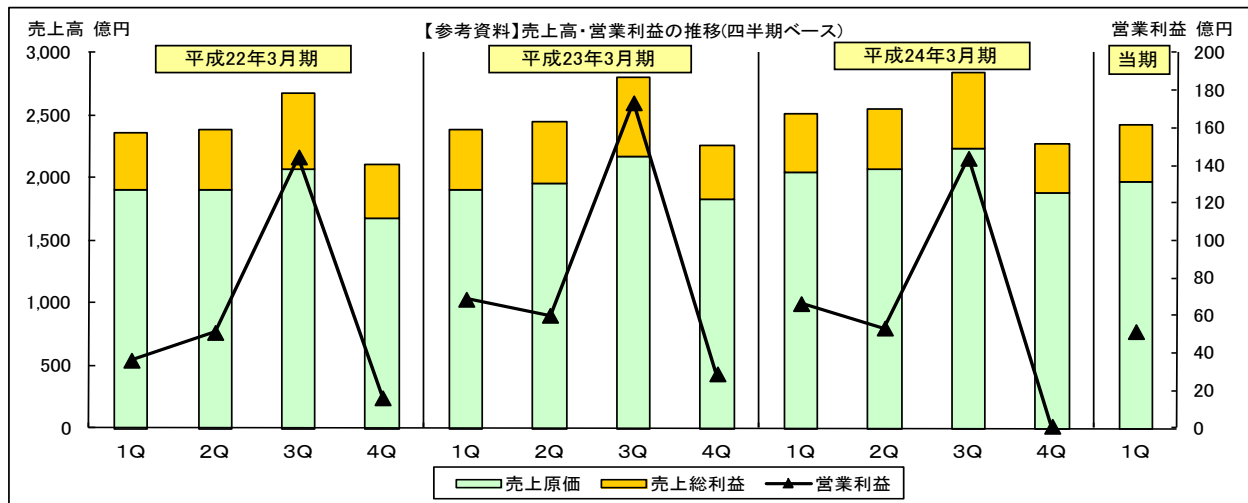
平成24年7月

I ハイライト情報

《連結決算》

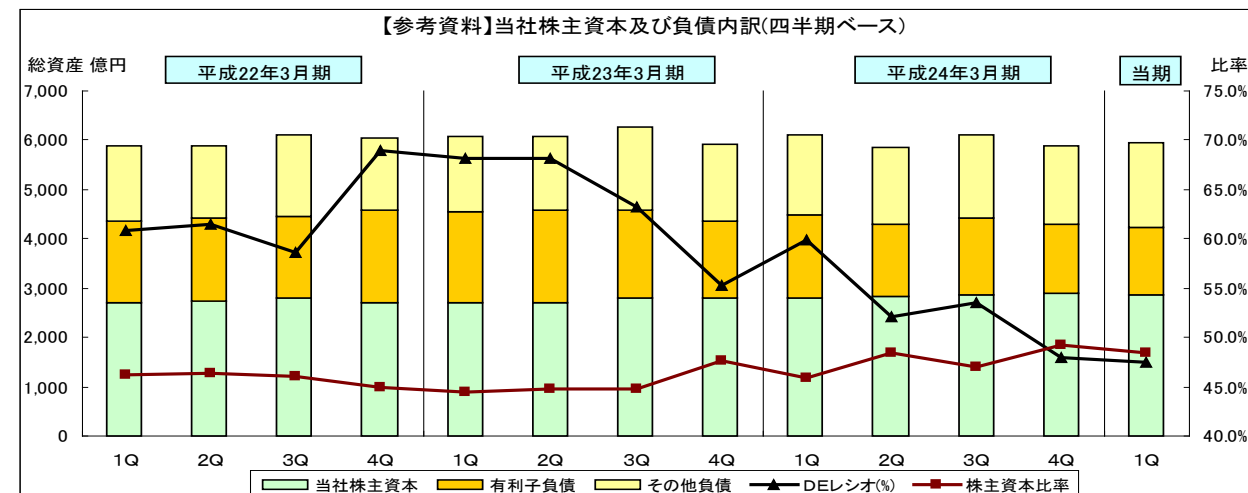
(単位：百万円)

	23年3月期 第1四半期 (実績)	24年3月期 第1四半期 (実績)	25年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減率	24年3月期 (実績)	25年3月期 第2四半期 連結累計期間 (計画)	25年3月期 (計画)
売上高	238,550	251,307	242,943	△ 3.3%	1,017,784	515,000	1,040,000
売上総利益	47,662	47,492	45,675	△ 3.8%	195,562		
営業利益	6,884	6,652	5,162	△ 22.4%	26,513	12,000	30,000
税引前四半期 (当期)純利益	5,061	6,125	4,141	△ 32.4%	26,766	7,200	23,000
当社株主に 帰属する 四半期(当期)純利益	3,276	3,574	1,924	△ 46.2%	11,655	3,600	12,000
売上高総利益率	20.0%	18.9%	18.8%		19.2%		
売上高営業利益率	2.9%	2.6%	2.1%		2.6%	2.3%	2.9%
総資産税引前当期純利益率 (ROA)	0.8%	1.0%	0.7%		4.5%		



(単位：百万円)

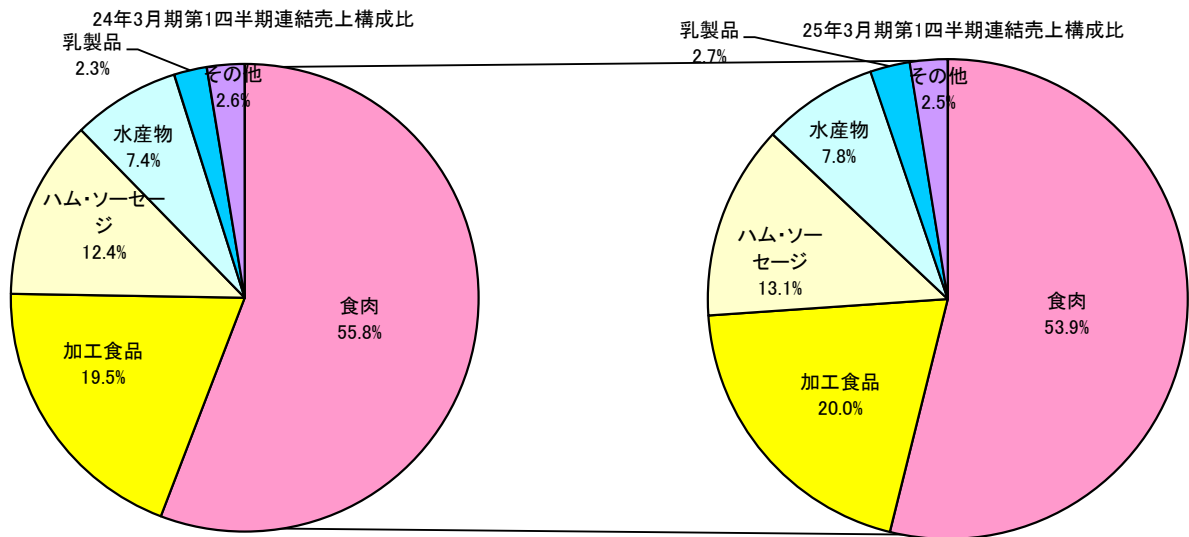
	23年3月期第1 四半期(実績)	24年3月期第1 四半期(実績)	25年3月期第1 四半期(実績)	24年3月期 (実績)	25年3月期 (計画)
総資産	609,187	611,910	594,177	589,125	
当社株主資本	270,372	280,744	287,733	290,020	
有利子負債	184,336	168,013	136,430	139,187	
D / E レシオ	0.68	0.60	0.47	0.48	
設備投資額	3,512	2,597	4,745	19,487	43,000
減価償却費	5,872	5,792	4,716	23,756	22,000



II 連結売上内訳

(単位：百万円)

	24年3月期 第1四半期 (実績)		25年3月期 第1四半期 (実績)		対前年同期 増減率	24年3月期 (実績)		25年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	31,216	12.4%	31,808	13.1%	1.9%	137,286	13.5%	140,000	13.5%
加工食品	48,873	19.5%	48,673	20.0%	△ 0.4%	203,167	20.0%	206,000	19.8%
食肉	140,293	55.8%	130,895	53.9%	△ 6.7%	544,054	53.4%	557,500	53.6%
水産物	18,678	7.4%	18,907	7.8%	1.2%	82,836	8.1%	84,000	8.1%
乳製品	5,710	2.3%	6,499	2.7%	13.8%	23,261	2.3%	25,000	2.4%
その他	6,537	2.6%	6,161	2.5%	△ 5.8%	27,180	2.7%	27,500	2.6%
合計	251,307	100.0%	242,943	100.0%	△ 3.3%	1,017,784	100.0%	1,040,000	100.0%



III 連結販売費及び一般管理費内訳

(単位：百万円)

	24年3月期 第1四半期 (実績)	25年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	24年3月期 (実績)
人件費	16,762	16,539	△ 223	65,933
広告宣伝費	2,487	2,462	△ 25	10,868
物流費	9,289	9,526	237	39,304
その他	12,302	11,986	△ 316	52,944
合計	40,840	40,513	△ 327	169,049
売上高販管費比率	16.3%	16.7%		16.6%

IV 「その他の営業費用及び(△収益)-純額」・「その他の収益及び(△費用)-純額」の内訳

1. その他の営業費用及び(△収益)-純額 (単位:百万円)

	24年3月期 第1四半期 (実績)	25年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	24年3月期 (実績)
固定資産減損損失	391	—	△ 391	2,213
特別退職金	14	—	△ 14	107
その他	△ 76	△ 139	△ 63	△ 1
合計	329	△ 139	△ 468	2,319

2. その他の収益及び(△費用)-純額 (単位:百万円)

	24年3月期 第1四半期 (実績)	25年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	24年3月期 (実績)
受取利息・配当金	319	362	43	848
有価証券評価損・売却損益	△ 40	△ 77	△ 37	△ 255
為替差損益	24	△ 1,039	△ 1,063	△ 279
その他	△ 9	1	10	△ 32
合計	294	△ 753	△ 1,047	282

プロ野球選手移籍金	—	—	—	4,017
-----------	---	---	---	-------

支払利息	492	407	△ 85	1,727
------	-----	-----	------	-------

差し引き計	△ 527	△ 1,021	△ 494	253
-------	-------	---------	-------	-----

※「差し引き計」は「その他の収益及び(△費用)-純額」及び「プロ野球選手移籍金」から「その他の営業費用及び(△収益)-純額」と「支払利息」を控除して算出しております。

V セグメント情報

1. オペレーティング・セグメント情報

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	75,924	92.5%	73,982	94.2%	△ 1,942	△ 2.6%
セグメント間の内部売上高	6,169	7.5%	4,558	5.8%	△ 1,611	△ 26.1%
売上高合計	82,093	100.0%	78,540	100.0%	△ 3,553	△ 4.3%
営業利益	1,107	1.3%	1,804	2.3%	697	63.0%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	147,785	85.8%	140,109	86.2%	△ 7,676	△ 5.2%
セグメント間の内部売上高	24,451	14.2%	22,445	13.8%	△ 2,006	△ 8.2%
売上高合計	172,236	100.0%	162,554	100.0%	△ 9,682	△ 5.6%
営業利益	5,038	2.9%	2,912	1.8%	△ 2,126	△ 42.2%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	30,852	97.7%	31,816	97.9%	964	3.1%
セグメント間の内部売上高	718	2.3%	698	2.1%	△ 20	△ 2.8%
売上高合計	31,570	100.0%	32,514	100.0%	944	3.0%
営業利益	456	1.4%	246	0.8%	△ 210	△ 46.1%
消去調整他						
売上高	△ 34,592		△ 30,665		3,927	
営業利益	51		200		149	
連結						
売上高合計	251,307	100.0%	242,943	100.0%	△ 8,364	△ 3.3%
営業利益	6,652	2.6%	5,162	2.1%	△ 1,490	△ 22.4%

(注) 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2. 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
日本						
外部顧客に対する売上高	229,751	99.9%	225,119	99.9%	△ 4,632	△ 2.0%
セグメント間の内部売上高	295	0.1%	142	0.1%	△ 153	△ 51.9%
売上高合計	230,046	100.0%	225,261	100.0%	△ 4,785	△ 2.1%
営業利益	7,020	3.1%	5,517	2.4%	△ 1,503	△ 21.4%
その他の地域						
外部顧客に対する売上高	21,556	50.2%	17,824	48.7%	△ 3,732	△ 17.3%
セグメント間の内部売上高	21,362	49.8%	18,793	51.3%	△ 2,569	△ 12.0%
売上高合計	42,918	100.0%	36,617	100.0%	△ 6,301	△ 14.7%
営業損失	△ 589	△ 1.4%	△ 216	△ 0.6%	373	—
消去又は全社						
売上高	△ 21,657		△ 18,935		2,722	
営業利益	221		△ 139		△ 360	
連結						
売上高合計	251,307	100.0%	242,943	100.0%	△ 8,364	△ 3.3%
営業利益	6,652	2.6%	5,162	2.1%	△ 1,490	△ 22.4%

(注) 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

【参考情報～その他の地域の内訳】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
米州						
外部顧客に対する売上高	6,113	34.8%	6,255	39.2%	142	2.3%
セグメント間の内部売上高	11,477	65.2%	9,718	60.8%	△ 1,759	△ 15.3%
売上高合計	17,590	100.0%	15,973	100.0%	△ 1,617	△ 9.2%
営業利益	2	0.0%	87	0.5%	85	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	13,711	80.9%	9,957	77.3%	△ 3,754	△ 27.4%
セグメント間の内部売上高	3,227	19.1%	2,917	22.7%	△ 310	△ 9.6%
売上高合計	16,938	100.0%	12,874	100.0%	△ 4,064	△ 24.0%
営業損失	△ 758	△ 4.5%	△ 440	△ 3.4%	318	—
その他						
外部顧客に対する売上高	1,732	19.2%	1,612	19.4%	△ 120	△ 6.9%
セグメント間の内部売上高	7,312	80.8%	6,676	80.6%	△ 636	△ 8.7%
売上高合計	9,044	100.0%	8,288	100.0%	△ 756	△ 8.4%
営業利益	171	1.9%	148	1.8%	△ 23	△ 13.5%

セグメント間取引の消去があるため、上記の「その他の地域」とは一致しません。